

呉竹総合支援学校再構築に向けた

「呉竹バルーン構想」

共生社会の実現・自立と社会参加

学校教育目標

社会参加し、生き生きと活動したいという児童生徒の願いを実現するために
個々の可能性を最大限に伸ばす

学校教育の重点

- 〈京都市の総合支援学校〉
- 子どもを「できる存在」として捉え、できる姿を通して「生きる力」を育む
 - 地域社会と協働して社会に生きる子どもに必要な資質・能力を育む
 - 自立と社会参加の実現に向けた生活態度や規範意識を育む

めざす

めざす児童生徒像

- 自分の心や体を大切にする人
- 人を大切にし、共に生きる人
- 願いや夢に向かってすすむ人
- 負けない心をもってすすむ人
- 役割を担い、役に立とうとする人
- 挨拶をする人
- ルールや約束を守る人

めざす教職員像

- 児童生徒の健康・安全を守る人
- 児童生徒を愛し、児童生徒の人權を大切にする人
- 児童生徒の主体性を尊重する人
- 授業を大切にし、熱意をもって、児童生徒を指導・支援する人
- 自らの専門性向上をめざして日々精進する人
- 保護者や地域と連携し、他の教職員と協力しながら仕事をする人

めざす学校像

- 生命を守り切る学校
- 児童生徒の学びを大切にする学校
- 信頼される学校（保護者や地域との信頼関係を基にした、安心・安全で開かれた学校）
- 教職員が夢や希望をもって働ける学校

推進する

令和元年度

【キーワード】

「地域への発信 ・ 地域での展開」

【授業づくりの視点】「できる状況づくり・できる環境づくり・できる自分づくり」

障害者スポーツによる交流および共同学習を通した障害者スポーツ普及・啓発

「スポーツ交流 大作戦！」

ソフト面の充実

ハード面の充実

令和3年度

令和2年度

令和元年度

3年構想

令和3年度 of 取組

令和2年度 of 取組

令和元年度 of 取組

推進力

振り返る

呉竹の強み

- 多様な文化を受け入れる柔軟性や寛容性
- 子どもの自由で多様な表現活動
 - ICT 活用, 芸術系活動, 余暇活動の充実など先進的な取組, ユニークな取組
- 行事に向かうパワー
- 学校祭 (体育の部・文化の部) などの行事に向けての取組

呉竹の伸ばしたい点

- 学校力
- 学校としての明確なビジョン (目指す姿) の共有
 - 学校としての指導の一貫性と系統性
 - 小中高の継続性と連続性
 - 各部署の連携と協働

求められる学校力 (令和元年度の取組の重点)

新たな教育課程の創造のために

授業づくりにかかわる取組

- 着実な授業改善法の充実 (校内研究の内容や方法の充実)
- 個別の包括支援プランの活用 (研修内容の充実や供覧システムの改善)
- 研究授業の充実 (研究授業の案内や内容の充実)

専門性・資質の向上にかかわる取組

- 研修の充実 (個の専門性)
- 支援部機能の充実 (学校の専門性) (支援部の専門性を担保するための研修と人材育成・校内の支援部活用システムの充実・育 (はぐくみ) 支援センター業務の再確認と整理)
- コーディネーターを中心にした OJT (コーディネーター研修の充実)

新たな学校システムの構築のために

仕事の均等化・バランスの取れた

業務の分担にかかわる取組

- 明確な経営方針の提示
- 学部運営の主体性を重視した体制に向けた組織の改編 (学部会・学年会の充実)
- 業務内容の見直しと明確化

新たな学校システム

新たな教育課程

仕事の均等化・
バランスの取れた
業務分担

授業づくり

専門性・資質の向上

風を受ける

地域・保護者の理解と協力

- 学校運営協議会の活性化
- 学校評価の活用
- 近隣校の理解と協力
- PTA 活動の充実
- 保護者の理解と協力

社会の動向・環境

- 働き方改革
- 新学習指導要領の実施
- インクルーシブ教育システムの推進
- 地域資源としての学校
- 校舎再整備

教職員
児童生徒

現状

支援の風